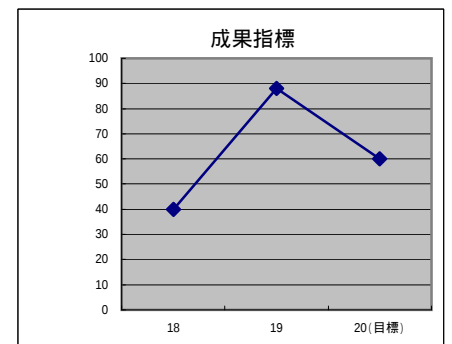
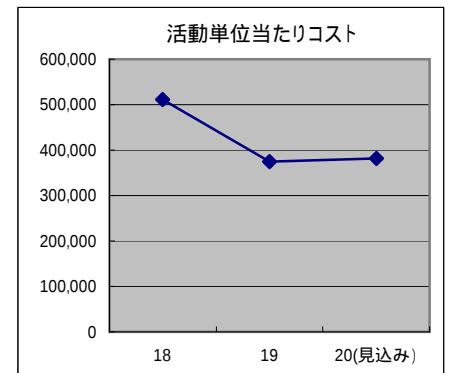


事務事業名		男女共同参画に係る市民参加事業		予算科目	会計	1	一般会計	
					款	3	民生費	
					項	1	社会福祉費	
					目	7	人権施策費	
					事業	4	男女共同参画	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	4	魅力ある地域社会を拓く活力あるまち					
	施策(節)	2	男女共同参画					
	施策の方向	(3)	男女共同参画を支える社会づくり					
関連する計画等				羽曳野市男女共同参画推進プラン		作成部署 市民人権部人権推進課		
				連絡先		072 - 958 - 1111 内線 1057		
事業の目的								
対象(誰を・何を)								
市民								
意図(どういう状態にしたいのか)								
男女が個性と能力を発揮できるよう市民参加型の事業を開催し、男女共同参画社会を身近なものにする。								
事業の内容								
男女共同参画の考えに基づいた講座・セミナー・フォーラムを開催								
・女性パソコン教室								
・男女共生セミナー(男性向けクッキング)								
・きらりはびきの～男女共同参画フォーラム&人権を考える市民の集い～								
根拠法令等 男女共同参画社会基本法・羽曳野市男女共同参画推進本部設置要綱								
事業開始時期 ☐ 昭和 ☒ 平成 9 年 月開始 ☐ 明確にはわからない 終了年度 平成 年度								
事業開始時からの状況変化 開催時から時流を鑑みて、講座・セミナー・フォーラムの内容に変化を持たせている。また、平成12年度からは「人権を考える市民の集い」との同時開催としている。								
市民や議会の要望								
実施手法 ☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()								
委託先		☒ 外郭団体委託	名称	(株)みのりの里		委託内容		女性パソコン教室
		☐ 民間委託						

区 分		18年度	19年度	20年度
		(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)		289	217	378
人件費【2】 (千円)		8,400	8,400	8,400
職員数	正規職員	1.00 人	1.00 人	1.00 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		8,689	8,617	8,778
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他 (手数料・使用料等) (千円)	135	98	111
	一般財源 (千円)	8,554	8,519	8,667
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		18年度	19年度	20年度(目標)
セミナー等開催延べ回数 回		17	23	23
活動単位当たりコスト (【A】 / 【B】)		511,118 円	374,652 円	381,652 円
市民1人当たりコスト (【A】 / 人口)		72 円	72 円	73 円



成果指標 （事業目的の達成度を測る指標）	指標名		指標設定の考え方		平成18年度		平成19年度		平成20年度	
	女性パソコン教室受講者数 （人） 式）	参加募集人数に対しての 受講者数	目標	40	60	達成率（％）	60			
			実績	40	88	146.7%				
	男性クッキング受講者数 （人） 式）	参加募集人数に対しての 受講者数	目標	24	24	達成率（％）	48			
			実績	25	20	83.3%	43			

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	男女共同参画社会を実現するにあたり、啓発を兼ねて、実際に体験・体感してもらう参加型の事業である。
○			○	○	○	○					

視点	分析のためのチェック点			分析・評価の説明		
	はい	いいえ	該当なし			
妥当性	市民ニーズが高い	☒	☐	☐	市民のニーズが高い内容について参加型の啓発事業を行っている。	
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	☒	☐	☐		
	社会情勢の変化に対応している	☒	☐	☐		
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐		
	国・府の事業と重複していない	☒	☐	☐		
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐		
	緊急性が認められる	☒	☐	☐		
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	☒	☐	☐	女性パソコン教室の民間委託、講座セミナーにおける材料費やテキスト代等相当額の参加費徴収、フォーラムの「人権を考える市民の集い」との同時開催など、コスト削減等の効率化に努めている。	
	受益者負担の割合は適当である	☒	☐	☐		
	人員を削減する余地がない	☒	☐	☐		
	事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐		
	簡略化できる方法や手段がない	☒	☐	☐		
	市の他事業と重複していない	☒	☐	☐		
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	☒	☐	☐		
有効性	上位の施策(目的)が明確である	☒	☐	☐	市民に、男女共同参画を体験・体感してもらう有効な手段である。	
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	☒	☐	☐		
	成果を向上させる余地がない	☒	☐	☐		
	市民の視点にたってサービスが提供されている	☒	☐	☐		
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	☒	☐	☐	女性パソコン教室の一部を市民と協働して企画立案した。また事業の最終日にアンケートを実施し、意見を反映して次年度に活かしている。	
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	☒	☐	☐		
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	☒	☐	☐		
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☒	☐	☐		
達成度	成果指標の目標値は適正である	☒	☐	☐	参加募集人数は概ね目標数を満たしているが、今後も目標値を年々高く持つ。	
	成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐		
	成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐		

担当 部局 評価	総合評価	
	☒ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
	評価の理由	
	法律に位置づけられているように、男女共同参画社会の実現は21世紀の我が国の社会を決定する最重要課題であることを踏まえて、社会経済情勢の変化や地域の特性に応じたきめ細かな施策の展開が求められている。	
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)	
	男女共同参画社会の実現に向けて、より多くの市民が参加し、体験・体感できる機会を創造する。パソコンとクッキングは開催方法、時期、時間帯を見直すことにより、30～40歳代の受講者を増やすなど、事業の拡充を図る。	